## 平成29年度学校評価シート

学校名:和歌山県立和歌山工業高等学校 学校長名:田村 光穂 丽

目指す学校像 育てたい生徒像 ○本県の伝統ある工業高校として、基礎基本教育の原点を忘れず、職業教育のリーダー的役割を果たす、社会に貢献する学校

○教師と生徒が共に創造性豊かなこれからの工業教育(生徒が輝き、教師が夢を語ることができる)に取組む学校

○校訓である「質実剛健」に相応しい、健全な自主自立の精神や勤労を尊重し、国内外の産業発展に貢献できるグローバルな視野を有する生徒

	重点目標	1進路保障に向け学力の充実を図ると共に、多様な学習の場の提供と、国際人の育成を行う
١		2基本的生活習慣の確立と、問題行動の防止に努め、責任感の強い人材を育成する
	即し、精選した上で具体的かつ明	3 広報の充実と地域との連携を深め、工業教育の新しい流れに対応できる、特色ある中核校を目指す
ı	確ご記入する)	4 適正かつ円滑な校務運営に努め、教職員の意識向上を図り、教職員が成長する組織を構成する

	Α	十分に達成した(80%以上)				
達	В	概ね達成した(60%以上)				
及度	C	あまり十分でない (40%以上)				
	D	不十分である(40%未満)				

### 学校評価の結果と改善方策の公表の方法

年度末に発行する学校だよりに学校評価の結果を |掲載するとともに、本校ホームページでも公表す る予定である

(注) 1、重点目標は3~4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する 2、番号欄には、重点目標の番号を記入する 3、評価項目に対応した具体が取組と評価指標を設定する 4、年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する 5、学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う

L	自己評価						
	_		重 点 項 目		平成29年度評価 (平成年	月	日珠五)
齶	現地課題	評画	具体頂組	評価情票	評価項目の適対状況	虃	次年度~07課題と改善方策
1	○基礎学力の 定着と、基 礎・基本を 重視する教 育の充実 ○希望進路の 実現と進路 指導の確立	スマートルームの積極的活用と、基礎学力の定着と充実。 〇課題発見と解決力の向上	充実させる。 ○授業研究のための授業提案(各科年1回程 度)を積極的におこなう。 ○課題研究等の学習成果発表会を実施する。	の授業改善 ○放課後などの補習の実施回数 ○課題研究発表会の実施実績 ○レポート指導の充実と成績 の変化 ○資格取得による増加単位	○就職―次試験合格率 85.7% (251名中215名合格 前年度76.4%) ○実力テスト平均点 1年45.6点 2年44.2点 3年40.2点 ○AL対応教室新設 稼動回数 346回	В	○授業研究回数を増やし、授業改善に 取り組む 参加教員を増加させる ○ALを幅広く行うための更なる環境 の整備 ○ALを取り入れ、生徒に計論や発表の 機会を持たせる ○基礎学力の向上をはかる ○進路意識を向上させ、県内外の企業 に優秀な人材として就職をさせる
2	○家庭の協力 を充実させ る体制の構 築 ○基本的生活 習慣の一層 の確立 ○規範意識の 向上	え、規律を守る意義を理解 させ、道徳心の醸成を図る 指導体制づくり		利用回数	○地域住民と協力しあい、登下校時の街頭指導を行った 実施 回数22回(月2回実施) ○特別指導回数27件 (昨年度50件) ○アセンブリー実施回数 1年3回 2年3回 3年2回	В	<ul> <li>○服装頭髪や身だしなみの指導を継続し、規範意識を高める</li> <li>○登校時指導を徹底し、遅刻防止に努める</li> <li>○街頭指導などを積極的に行い、校内外での生徒の様子にも気を配る</li> <li>○気軽に教育相談を受けられる雰囲気をつくるまた、生徒や保護者への周知をはかる</li> </ul>
3	校の特色が	○インターネットやマスコミ	<ul><li>○実習・実験等、授業の公開や成果物を活用した地域貢献に努める。</li><li>○県内工業高校との積極的交流を行う。</li><li>○教職員の他校見学等、情報収集とその還元に取り組む。</li></ul>	○県内工業高校等の連携実績 ○体験学習や学校開放週間等 来校者数	○学校開放週間・和工祭・体育大会などの来校者数 約350名(	В	○地域に親しまれる開かれた学校づくりを念頭に、保護者や地域の方が参加しやすい学校行事に取り組む ○HP アクセス数を増加させるため、 更新頻度を増やす。 ○保護者への連絡システムを見直し、 有用な連絡を早く届けられるよう にする
4	○校務の簡素 化と、成長 性の高い組 織づくり	○メンター制の導入やミドル	<ul><li>○10年後を見通す職員の意識づくり</li><li>○タスクチームの活動を積極的に行う。</li><li>○若手教員が常に夢を持って職務に邁進できる体制づくりに取り組む。</li><li>○各種委員会等校務分掌のスリム化・効率化をはかる。</li></ul>	○検討委員会での議論の充実 ○タスクチームの活動実績 ○月1回程度の若手教員の勉強会の開催実績 ○全職員による、学校運営の検証回数 ○時間外勤務の縮小	員の会のFuturesの勉強会を月一回の開催を目標に実施した	В	○各委員会の実績を職員研修会などを通じ、委員外の先生にも伝達する ○他校からの訪問を受け入れられるよう、様々な取り組みを行う必要がある ○時間外勤務の縮小に取り組む

# 平成 年 月実施 学校関系者からの意見・要望・評価等 <生徒評価>8割弱の生徒がA・B評価のいずれかで

学媒系部

ある。また、A評価が17%から44%へと倍増している ことやE評価が12%から2%へと減少していることか ら、生徒の満足度は向上していると考えられる。し かし、校則の緩さ・ALを取り入れた授業の少なさ 自己の将来への不安などを指摘している結果がみ られるため、これらについて組織的に取り組み、不 安を取り除くことが課題と考えられる。

#### <保護者のご意見(抜粋)>

・長期休業中に学習補習を実施してほしい・学校 行事に参加するために、連絡方法を改善してほし い ・自転車の講習会を開催してほしい ・学校環 境が良い ・就職先企業との連携が良い ・部活動 に積極的に取り組んでいる 地域との連携が不透 明 ・学校の様子がよく分からない ・冬期にエア コンを運転してほしい ・学校の様子を分かって いないことを認識したので、授業参観などをさせ ていただき、学校について考えていきたい

### <学校評議員のご意見(抜粋)>

・基礎学力の向上 ・生徒間でのメンター制度の導 入 ・校友会企業の幹部職員と教職員での情報交 換 ・女子生徒を増やすための環境整備

評価	生徒(前年度)	保護者(前年度)		
Α	44.1% (17%)	28.8% (27%)		
В	32.1% (60%)	46. 2% (42%)		
С	17.3% (10%)	21.7% (28%)		
D	4.1% (1%)	3.3% (2%)		
Е	2.3% (12%)	0.0% (1%)		

※保護者様・評議員様、その他学校関係者様へ※ 学校評価にご協力いただき誠にありがとうございます 頂戴したご意見を来年度の成果につなげるよう生かしたいと思います